



AI電話サービス

電話で終わらせない。 Luna Call.

受電も、架電も。会話を次の対応へつなぐ。

提供開始に向けたご提案資料です。開始時期・仕様・契約条件は個別にご案内します。

電話の前後にも、仕事が積み重なる。

受電による中断、架電の積み残し、引き継ぎ後の再確認。負担のある工程を見つけます。



見直すのは、電話中だけでなく、記録・再連絡・引き継ぎまで。

課題の例です。実際の業務を確認し、導入対象を絞ります。

定型の対応はAIへ。判断と相談は人へ。

受ける電話も、かける電話も。用件を整理し、必要な対応へつなげます。



AIに任せる範囲と、人へ戻す条件をセットで設計します。

提供設計のイメージです。対応範囲・接続方法・運用条件は案件ごとに確認します。

よくある用件を受け、必要な情報を揃える。

案内が決まっている電話から始め、相談が必要な用件は人につなぎます。



予約の確定や転送などは、接続先と業務条件に応じて個別設計します。

導入設計例。予約の確定・転送・営業時間外の運用は、接続先や業務条件に応じて個別設計します。

聞くことと、その後の行動をセットにする。

既存顧客の状況確認など、連絡目的が明確な業務から検討します。

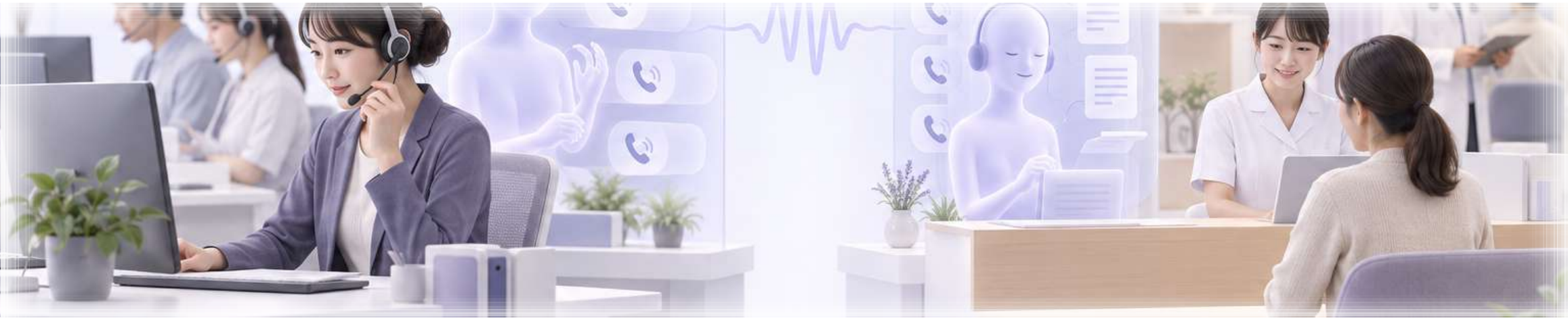


用途例：休眠顧客の状況確認 / 問い合わせ後の初回確認 / 日程・予定の確認

活用例です。架電対象・案内内容・停止条件を定め、対応可否と運用方法を個別に確認します。

電話対応を減らしながら、売上機会も増やせる。

受電と架電を分けず、定型対応と接点づくりを一続きで設計します。



コールセンター

受電コストを抑えながら、掘り起こしで売上機会を増やす

悩み	着信集中と折り返しで、見込み客への架電が後回し
Luna Call	定型受電を受け、空き時間は休眠顧客へ架電。 商談候補と折り返し内容を整理
人が担う	例外対応、クレーム、提案とクロージング

クリニック

受付電話で、看護師・医師の手を止めない

悩み	予約・変更・相談電話が重なり、診療中もスタッフが中断
Luna Call	予約受付、来院前ヒアリング、来院後の 「最近どうですか？」と再診案内を担当
人が担う	医療判断、緊急対応、専門的なカウンセリング

※ 想定活用例です。医療判断・緊急対応・個人情報の取扱いは、必ず人の対応条件と運用ルールを定めます。

問い合わせの熱があるうちに、次の予定まで決める。

初回連絡、条件確認、日程調整。速さが必要な連絡をLuna Callが支えます。



不動産

初回連絡を早め、内見までの離脱を減らす

悩み	Web問い合わせの折り返しが遅れ、検討の熱が下がる
Luna Call	希望エリア・予算・時期を聞き、内見候補日を確認。 過去に問い合わせた見込み客へも再連絡
人が担う	物件提案、条件調整、契約に関わる個別判断

※ 想定活用例です。架電対象、連絡回数、受付時間、必ず人へ引き継ぐ条件を導入時に設計します。

人材紹介・採用

接点数を増やし、面談の質に時間を使う

悩み	初回連絡、日程調整、未通電者への再架電が積み上がる
Luna Call	希望条件と転職時期を確認し、面談予約へ。 休眠登録者に「最近どうですか？」と再接触
人が担う	キャリア相談、求人提案、意思決定の支援

定期連絡が必要な業務ほど、忘れず、同じ品質で続けられる。

更新・書類・予約・フォロー。繰り返し発生する連絡を、運用として定着させます。



保険・保証・信販

期限前の連絡を止めず、判断案件へ時間を使う

悩み	更新案内、書類不備確認、一次問い合わせが同時に重なる
Luna Call	期限前案内、提出状況の確認、用件整理を担当。 審査・適否・個別条件の判断は人へ
人が担う	契約説明、審査・適否の判断、苦情対応

※ 想定活用例です。契約判断・審査・重要な説明は人が行い、AIは案内・確認・一次受付の範囲で設計します。

店舗・会員サービス

来店中の接客を守り、再来店のきっかけもつくる

悩み	予約電話を取り切れず、来店後フォローや休眠客への連絡も続かない
Luna Call	予約・変更受付、来店後の「最近どうですか?」、 休眠顧客への再来店案内を担当
人が担う	対面接客、施術、個別の提案とクレーム対応

要件に合わせて、三つの対応を組み合わせる。

選択肢が明確か、会話で確認するか、人の判断が必要か。要件に応じて選びます。



要件ごとに選ぶ対応方法です。正式な商品区分・プラン名ではありません。

構成の選択肢です。正式な商品区分・プラン名ではありません。実装・連携範囲は個別に確認します。

現場の会話をもとに、試して、直す。

現場の質問を整理し、会話を設計。実際の受け答えを確認して改善を重ねます。



記録の利用目的・保存と閲覧の範囲・修正担当も、先に決めます。

改善の進め方の例です。録音・文字化・連携の提供範囲とデータ利用条件は個別に定めます。

一次対応の削減余地は、月約58.3時間。

月1,000件・1件5分の受電で、70%がAIだけで完了した場合の試算です。

$$1,000\text{件/月} \times 5\text{分/件} \times \text{AI完了率 } 70\%$$



人の一次対応の削減余地

58.3 時間/月

導入前 83.3時間 → 導入後 25時間

$$1,000\text{件} \times 5\text{分} \times 70\% \div 60\text{分} = 58.333\cdots\text{時間}$$

説明用の仮定で実績・効果保証ではありません。残る30%は従来と同じ5分の一次対応と仮定。引き継ぎ後の対応や確認・改善工数は含みません。

一次対応をAIへ。人は判断と相談を担う。

月1万コールの架電を、1人150件／日・20営業日で追うと約4人が必要です。



比較

電話対応を増員で補うか、AIとの役割分担で見直すか。

料金条件は12ページに記載。上図は料金差ではなく、AIと人の役割分担を示す比較です。

人件費は月給30万円・賞与年60万円／人、東京・40歳未満の試算。図は役割の比較で、AI側の必要人数・4人分の代替を保証しません。

件数と品質を見て、広げるかを決める。

受けられたか・完了したか・引き継いだか・負担が減ったかを、導入前後で比較します。

見る指標	受電	架電
接続・受付	電話を受けられた割合	相手と会話できた割合
完結・確認	一次対応で完了した割合	目的の確認を終えた割合
人への引き継ぎ	引き継ぎが必要だった件数	担当者の対応につながった件数
業務負担	確認・修正を含めた対応時間	架電・記録・フォローの作業時間

結果を確認 → 継続 | 修正 | 拡大

評価項目の例です。誤案内やお客様からの申し出も確認し、件数と品質を合わせて判断します。

一つの業務で始め、対応を確かめる。

対象業務・会話・テスト・運用の順に、現場と確認しながら進めます。



小さく始め、現場の受け答えを確かめてから対象を広げます。

2026年9月時点で提供開始に向けた準備中です。開始日・必要期間・支援範囲は正式なご提案時にご案内します。

負担の大きい電話業務を、一つ教えてください。

件数・用件・今の対応方法から、導入範囲を一緒に整理します。

1

どれくらい電話がありますか？

月間の受電・架電件数

2

どんな用件が多いですか？

繰り返しの案内・確認内容

3

今は、どう対応していますか？

担当者数・平均対応時間・引き継ぎ方



電話対応に、次のゆとりを。

ご相談は、Luna Techの担当者まで。

AI電話サービス「Luna Call」／株式会社Luna Tech。提供内容・導入条件は個別にご案内します。

Luna Callは、受電・架電に対応。電話番号も幅広く選べる。

会話の自然さに対応範囲に加え、利用できる電話番号も確認します。

比較項目	他社A	他社B	他社C	Luna Call
会話の自然さ 電話口の印象	AI音声らしさが残る 当社デモ評価	AI音声らしさが残る 当社デモ評価	AI音声らしさが残る 当社デモ評価	人に近い自然な会話 自然な抑揚と会話の間を重視
受電 着信対応	対応	対応	対応	対応
架電 発信対応	上位プランで対応	対応	対応	対応
電話番号 利用できる番号	他社では、050番号のみ・050番号中心のサービスも多い 既存番号や番号種別は各社の提供条件を確認			050・03・0120 市外局番にも対応
自然な会話と受電・架電。さらに、050・03・0120・市外局番にも対応。				

※ 会話の印象は当社のデモ・検証時評価です。音声、シナリオ、回線品質、利用環境により体感は変わります。

※ 電話番号の記載は一般的な提供傾向です。利用可能な番号・既存番号の接続方法・対応範囲は各社の正式条件を確認してください。